

STUDENT EXCHANGE NEWS



近江兄弟社高等学校・中学校 国際交流委員会・留学生センターニュース

ISSUED BY THE INTERNATIONAL EXCHANGE COMMITTEE, OMI BROTHERHOOD SR. & JR. HIGH SCHOOLS

マレーシアの姉妹校からの受け入れ

毎年恒例になった、マレーシアの姉妹校、Wesley Methodist School の一行（生徒 40 名、先生 4 名）が、11 月 26 日（金）～ 29 日（月）の間、近江兄弟社学園の小中高の家庭に滞在しながら、交流を深めました。26 日（金）の朝関空に到着し、神戸方面の見学をした後、午後 3 時半頃、近江兄弟社学園に到着しました。午後 4 時から東館 5 階の講堂に、ホストファミリーや先だって海外研修旅行で同校を訪れたマレーシアコース参加の生徒たちが拍手で迎えるなか、入場しました。

歓迎会では、藤澤校長の挨拶のあと、Wesley Methodist School 一行の代表の Mr. Naresh が挨拶をしました。

通訳は、同校の生徒がしました。その後、近江兄弟社小学校の児童が和太鼓を披露してくれました。マレーシアの生徒たちも、民族衣装に着替え、ダンスや曲芸 (Chinese Yoyo) を見せてくれました。土日は、ホストファミリーと一緒に過ごしました。紅葉の日本を満喫してくれたことと思います。月曜の朝、バスで奈良に向け出発しました。わずか 3 泊 4 日のホームステイでしたが、親交が深まり、涙のお別れでした。

Mr. Naresh の歓迎会での挨拶を紹介します。



絆と夢と友情をいつまでも

Mr. Manickavasagam Naresh
ウェズレーメソジストスクール
(国際交流担当・数学科教諭)



Thank you everyone.
Konnichi wa!
A very good afternoon to the principal Mr. Fujisawa, Mr. Toyoda, teachers and students of

Omi Brotherhood High School.

On behalf of the principal of Wesley Methodist School Kuala Lumpur Mrs. Mathews, our principal designate Mdm. Chia, and our teachers and students, I would like to thank you for welcoming us to Omi Brotherhood High School. It is indeed a pleasure to be here in your midst. This exchange programme which has been on for 6 years would not have been possible without the initiative of the late Mr. Ganesmurugan. It would be most appropriate to state our appreciation to

him.

Japan has been part of our History syllabus. When I was studying I did learn all about Japan especially its giant strides in technology. I have always wanted to visit Japan as I am overwhelmed by your innovative skills and advanced technology, especially in the field of Robotics.

Being a football player and fan, I was very proud when Japan became one of the Asian countries to qualify for the round of 16 at the recently held World Cup 2010 in South Africa and became AFC's best national team of the year. This must have also been a very glorious moment for Japan.

We would like to learn more about your culture, tradition and education system at Omi Brotherhood High School and build a close rapport with your students and ours. We promise to maintain and continue the bond, dream and friendship mentioned by your teachers and students who visited Wesley Methodist School Kuala Lumpur recently.

Lastly, I would like to take this opportunity to thank the principal, teachers, students of Omi Brotherhood High School and especially the parents who are hosting our WMSKL students for

your kind hospitality. It will be an enriching experience for our students to stay for a few days with their Japanese host families. Thank you and God bless.
Arigato Gozaimashita.

(大意) 近江兄弟社高等学校の藤澤校長先生、豊田先生、先生方、生徒の皆様こんにちは。

WMSKL の校長 Mrs. Mathews、次期校長 Madam Chia、教師、生徒に代わり、近江兄弟社高等学校の歓迎に感謝申し上げます。みなさまにお会いできて本当にうれしく思います。

この交換留学プログラムは 6 年前に始まったものですが、今は亡き Mr. Ganesmurugan の主導的貢献なしには、ありえなかったものです。故 Mr. Ganesmurugan に心から感謝の意を表したいと思います。

私たちの歴史の授業に日本が出てきます。私が勉強した時、日本のすべて、特に工業技術における非常に大きな進歩について学びました。日本の革新的技術、とりわけロボット分野における先進技術に私は圧倒されていたので、かねてから日本へ来たかったです。

サッカーをする者として、またファンとして、南アフリカでの 2010 年ワールドカップでアジアの

一国の日本が、16 強入りしたことを、私は誇りに思います。このことは日本にとっても大変輝かしい瞬間であったに違いないと思います。

私たちは日本の文化、伝統そして近江兄弟社高等学校の教育システムについて学びたいです。そして両校の間に親密な信頼関係をつくりたいです。

私たちは先日、Wesley Methodist School Kuala Lumpur を訪れた先生方と生徒の皆様が言及した絆、夢、親交を保ち続けることをお約束します。

最後にこの場を借りて、近江兄弟社高等学校の藤澤校長、先生方、学生の皆様、そして特に私たち Wesley Methodist School Kuala Lumpur の学生を親切に迎えてくださるホストファミリーの皆様、心よりお礼を申し上げます。

Wesley Methodist School Kuala Lumpur の学生が日本のホストファミリーのお宅に滞在するこの数日が豊かでありますように・・・

ありがとうございます。皆様に神様の御加護がありますように。

同行の先生方

Ms. Uluk Norita

Ms. Mohamed Haron Robiah

Ms. Mat Amin Hamsiah

留学生のスピーチ

11 月 7 日 (日) のヴォーリズデーと同時に開かれた近江兄弟社高校オープンキャンパスで、アメリカからの留学生クリスティンさんが、約 2 ヶ月の滞在の感想などを、講堂に集まった中学生と保護者約 350 名の前でスピーチしてくれました。時折ユーモアを交えてのスピーチは、さすがスピーチの盛んなアメリカの高校生という感じでした。ほぼ原文のまま紹介します。

「もっと日本語を話して！」

I 2-1 Kristine Marie Wright

1993.3.5 生まれ AFS 留学生

出身：アメリカ・オハイオ州

留学期間：2010.9.1 ~ 2011.1.31 (予定)



みなさん こんにちは。

クリスティーン・ライトです。アメリカのオハイオ州からきました。17 才です。今、2 ねん 1 くみのクラスにはいっています。8 月から来年の 2 月まで日本でべんきょうします。

きょうはみなさんに私の日本の生活とアメリカの生活をしょうかいします。ちよっときんちょうしています。よろしくおねがいしますね。

私は今、近江八幡にすんでいます。私のホストファミリーはおとうさん、おかあさん、おとうとといもうとがいます。とってもすてきななかぞくです。

おとうとは 3 才です。いもうとは 1 才です。だからかわいいけどちよっとうるさいです。子どもは小さいけど、こえは大きい！だからときどき大変です。

アメリカの高校と日本の高校はちよっとちがいます。アメリカにはアルバイトをする学生がたくさんいます。私も冬にスキー場でアルバイトをします。

アメリカでは、学生はせいふくをきていないけど、服装の規程はきびしいです。はじめてせいふくをきてとてもうれしいです。

アメリカ人は、学校におべんとうをもっていきません。学生はごはんを買います。じゅぎょうは生徒が classroom から classroom に移動します。とてもたいへんです。まいにち廊下に人がいっぱいいます。でも日本は先生が classroom にきてくれます。とてもらくです。

私の高校は Brecksville-Broadview Heights High School という名前です。私はサッカーとラククロスをしていました。今、近江兄弟社高等学校できゅうどうぶに入っています。アメリカには Archery があるけどきゅうどうはありません。

アメリカの学校ではスペイン語、フランス語、ドイツ語と中国語のじゅぎょうがあります。



私は、中国語を3年間ぐらいべんきょうしています。また、日本語の学校で1年ぐらい日本語を勉強しました。私はアジアの文化のほうがヨーロッパの文化よりおもしろいと思います。

近江兄弟社高等学校では、1日に2時間ほかの留学生たちと日本語の勉強をします。それ以外は2年1組の同級生たちと勉強します。私の同級生たちは英語がじょうずだから私はときどき「もっと日本語を話して!」と思

います。今までの留学生活は 楽しく、おもしろく、exciting ですが、ときどきストレスがあり、つかれることもあります。留学はたいへんですよ!でも、ホストファミリーも先生たちも友達たちもやさしくて Supportive で私をたすけてくれます。

今から2月まで、あと3ヶ月、もっといろいろ楽しいことをしたいです。勉強もしたいです。Thank you for listening. きいてくれてありがとうございます。



イラスト by クリスティン

留学レポート

異文化に触れて得たもの

I1-1 大崎 恭平
 滋賀県ミシガン高校生派遣事業
 期間：2010.9.2～20
 行き先：アメリカ・ミシガン州



僕はアメリカ合衆国ミシガン州へ留学をしました。アメリカで学んだことはたくさんあるので、二つに厳選します。

まず一つ目は、Do not be shy 恥ずかしがらない。アメリカにいくとやはり一番にこれを感じました。授業中、わかっているのに手を挙げなかったり、「あってなかったらどうしよう・・・」という理由で積極的になれなかったりした経験やそういう現場を目撃した事はありませんか? 誰も一度や二度はあるとおもいます。しかしアメリカではだいたい8割の生徒が手を挙げています。それに加え、その答えに対し別の生徒がその意見を発展させたり、反論したりします。またジェスチャーいわゆる body language というものも多く使っていたようにおもいます。また話をおもしろくする手段の一つとしてジョークを交えたりもしていました。

二つ目は、Friendly 友好的です。朝、学校

へいくと hey dude と言い拳と拳を合わせたり、how was your weekend? などかなり声をかけてくれました。一日平均100人以上にはそのような感じで声をかけられたりしました。初めは、「留学生だから、珍しがっているのかな」と思っていました。学校へ登校する日を重ねていくごとに、それが当たり前なんだと気が付きました。帰りにはハグをしたりして、別れていました。

やはり些細なことですが、気持ちがいいです。またハグなどするのにも誰一人として shy にはなっていませんでした。

もし、留学をする機会があるとしたら、僕は行くべきだとおもいます。しかしこれら二つはしっかりと覚えておくべきだと僕は思います。そうすればより楽しく、より充実した留学になると思います。

ただ今留学中

ハローウィンと感謝祭

I1-1 星野 涼太
 留学先：Grand Rapids Christian High School (アメリカ)
 留学期間：2010.8.25～2011.3.24

①日付：2010年10月29日10:12

こっちにきて2ヶ月が経ちました。英語は相変わらず難しいですが学校には少しなれてきました。今月は週末に2回もキャンプに行きました。一回は学校の友達などと教会主催のキャンプに行きました。着いてまず、荷解きをしたらかヌーにでかけました。そのときは外で寝ました。すごく寒かったです。初めて外で寝袋で寝たのは良い経験でした。二回目は家族でミズーリ州に行きました。ミシガンからミズーリまでは車で12時間もかかるので結構遠かったです。今回は外ではなくてテントで寝たので外で寝たときよりは暖かったです。ミズーリでのキャンプではいろいろ

な初体験をすることが出来ました。例えば着いてすぐはライターで火を作ったのですが、その次の日からはその火種と枯れ葉を使って火をおこしました。また夜中にはテントの周りにコヨーテの群れが来たのも驚きでした。キャンプから帰ってきたあとは、やはりテントでの生活になじまなかったみたいで風邪をひいてしまいました。今は元気にやっています。

学校ではようやくお昼にご飯を食べたりプリントを見せてもらえる友達が出来ました。みんなの言っている英語は 4 割ほどしか理解できませんが、コミュニケーションはなんとかとれています。

今、ハロウィーンのイベントとしてお化け屋敷が町のいたるところでやっています。昨日ホストブラザーの友達とお母さんとでそのうちのひとつに行つて来ました。このお化け屋敷はあんまり怖くありません。というのもお化けのほとんどが隠れていなくて普通に見えていて急に叫んで脅かすというパターンばかりだったからです。あと暗くてお化けが出てきても気がつかなくなりました。お化け屋敷で楽しんだ後に B 型の血液を飲みました（見た目が、点滴パックの栄養ドリンクです）。ちなみに僕は A 型なので AB 型になったみたいです。

こんな感じで楽しく毎日を過ごしています。また、1 ヶ月後にレポート送ります。

②日付: 2010 年 11 月 30 日 13:25



今回のレポートはハロウィンとサンクスギビングと学校について書きます。

ハロウィーンのイベントとしてあちこちでやっている季節限定お化け屋敷にいきました。ホストブラザーは怖がって行くのを酷く嫌がったのでお母さんと友達と一緒に行きました。

内容は日本のお化け屋敷の方がクオリティは高く怖いと思います。このお化け屋敷には変わった飲み物がありその飲み物の名前は BLOOD。血の色をしている変わった飲み物でしたがまずくはなかったです。

そのあとマイカとその友達と "Trick or Treat" に行きました。たくさんのお菓子が手に入り

ました。

日本では体験できないこととしてかぼちゃでのランタン作りをしました。みんな自分の好みの絵柄を選んでかぼちゃに彫ってその中にろうそくを入れてかざったものがこの写真です。（こうもりが僕です。）

Thanksgiving Day にはターキーやパンキンパイなどをおじいちゃんおばあちゃんも含めた家族で食べました。食事のあとはみんなで単語ゲームやモノポリーなどをして団らんをして過ごしました。ちなみにサンクスギビングデーのある週は学校が 2 日しかなく 5 連休でした。

学校は結構大変です。何よりテストがすごくしんどいです。英語も問題の答えも理解しないといけないのでほとんど勘だのみの状態です。とりあえず宿題だけはして学校に行っている感じです。

ドイツからのクリスマスカード

2009 年～2010 年までドイツから本校に留学していた Mara Piehl さんから国際部宛にクリスマスのメールが届きましたので紹介します。



みなさんお元気ですか？私は元気です。

今は 11 月ですから、ドイツの学校で 11 年生と 12 年生（日本で 2 年生と 3 年生）

は、12 月まで試験を受けます。本当に大変です!! 新し

い留学生はどこから来ましたか？フランスからと他はどこ

国ですか。日本語の授業は楽しいですか？

来月はクリスマスですから、ドイツではクリスマスのマーケットがあります。10 月からすでにクリスマスのお菓子がおいてあります。ドイツの伝統のお菓子を送ります。毎年だれでもこのクリスマスのカレンダーを買います。

このカレンダーにはドアが 24 個あります。このドアは、1 から 24 の数がつけてありますから、子どもは 12 月 1 日から毎日、一つのドアを開けていきます。最後のドア（一番大きいドア、そして数は 24

です）は、12 月 24 日に開けます。だからこの日はクリスマスです。毎日一つずつドイツのチョコレートを食べてください。

Merry Christmas と明けておめでとう!!!



チョコレートの入ったアドベントのカレンダー